

「難病生活応援講座」

話と輪と和を

難病相談室の便り

8月9日午後、難病ポ
ランティア講座「難病生
活応援講座」を和歌山市
中央コミュニティセンタ
ーで開催しました。



多くの人が参加した「難病生活応援講座」は和歌山市の中央コミュニティセンターで

この講座は、広く県民の方々が難病についての知識を深め、実際に難病患者さんの介助について

「できるところは患者さんに積極的にお願いする。できないところをできる。できるところは患者さんへの介助や治療に当たっていただく。当日は、ポランティアに関心のある方、難病患者・家族、保健・医療・福祉関係者など72名が参加してくださいました。」

参加者の中には実際に介護や治療に当たっていらっしゃる方も多かったのですが、難病患者さんのポランティアに興味があったり参加された方もいらっしゃったので、少しでも難病患者さんの応援が増えます。

介助を学び、患者支援

学び、患者さんと家族の理解者として話し相手や外出のお手伝いなどの生活支援者、応援者となることを目的として06年より行っています。

講師には関西医療大学保健医療学部臨床理学療法学教室の鈴木俊明教授を迎え、「神経難病患者の介助の仕方」というテ

きょうに援助する「介助の手は患者さんの身体を支えるものではなくて、誘導するもの」ということを数々の実習を交えながら教えていただきました。参加者も熱心に講演を聴いたり実習に取り組みしていました。和やかな雰囲気の中、2時間半の講座を終えました。

（県難病・子ども保健相談支援センター主査、原久美子 同センターは073・445・0520）

毎日新聞2009年9月12日